令和 5 年度 西東京市公民館 事業評価表

※ 評価欄 A～D

A ・・達成している
B ・・一部達成していない
C ・・達成していない

令和3～5年度 事業計画		
【基本目標】 共生社会の実現に向けて、地域の中へ踏み出す公民館 **【基本方針】** ・ 開かれた公民館～あらゆる市民に向けて ・問いかける公民館～地域・社会に向き合う ・地域とともに～地域の中で、一緒に ・地域の中につながりを～ともに生きる地域を	■開かれた公民館～あらゆる市民に向けて ・身近に感じてもらえるように、気軽に参加でき、市民の関心に沿うような多様で幅広い事業を行います。 ・市民の潜在的ニーズの把握に努め、現役世代や若い世代など、公民館の利用が少ない層に向けた事業に取り組みます。 ・独居の高齢者、異なる文化背景を持つ人、障がいのある人、困難を抱えている人など、社会的制約を受けやすい人、社会的に孤立しがちな人を対象とした事業に取り組みます。 ・市民が必要とする情報を手にすることができるように、また、公民館が届けたい情報を届けたい人に届けることができるように、市ホームページやSNSの活用をすすめ、広報活動の充実に努めます。 ■・問いかける公民館～地域・社会に向き合う ・市民が抱く疑問や漠然とした不安、直面する問題等を学習課題化し、学びの場を提案します。 ・市民が主体的に学びを発展させていくことができるよう、継続的に学びの場を用意します。 ・市民が学びを実践につなげていく営みを支援します。 ■・地域とともに～地域の中で、一緒に ・公民館の中にとどまらず、他の公共施設や公共的空間など、地域の中で事業を実施します。 ・まちを歩き、地域を知る事業を実施します。 ・個人や団体が運営する地域の居場所で、一緒に事業を行います。 ・市民、団体、機関等と連携・協働して、事業に取り組みます。 ・受講者や公民館で活動する団体が、公民館での学びや活動の成果を地域へと広げていくことを支援します。 ・他課や関係機関と課題・目的を共有し、それぞれの独自性をいかして役割分担しながら、連携して事業に取り組みます。 ・地域の課題と向き合い、学習課題化して、学びの場を提案します。 ・ロビーを、公民館施設内にとどまらない、地域へと広がる、まちの中の出会いと交流の場として活かしていきます。 ■地域の中につながりを～ともに生きる地域を ・地域の中に、学びを通して人と人が出会い、交流し、関係を育む機会を生み出します。 ・日々の暮らしの中では知り合う機会が少ない人と出会い、交流する機会を提供します。 ・地域で活動する多様な団体・機関が関係を形成していくことを支援します。	①「西東京市公民館の事業評価のあり方について」に対する答申（平成23年4月27日）に基づき、公民館事業全体の総合的な評価を行う。 ②数値のみでは表せない視点を盛り込んだ実績も積極的に評価に取り入れる。 ③評価内容は柔軟な評価を目標にして、定期的に見直しを行う。（見直しは検討会議を開催する ④事業評価の内容を公開する。 ⑤評価結果は今後の公民館事業計画及び運営に反映させる。 ⑥持続可能な社会づくりの観点で評価する。 ⑦市民本位の公民館経営における事業展開を適切に評価する。

	項目	評価区分	基本方針 開かれた公民館	基本方針 問いかける公民館	基本方針 地域とともに	基本方針 地域の中につながりを	評価内容	実績指標	令和5年度の目標（課題）	実績	公民館（1次）評価 評価	公民館（1次）評価 評価及び課題 ［◇・・評価 ◆・・課題］	公民館運営審議会（2次）評価 評価	公民館運営審議会（2次）評価 評価及び課題 ［◇・・評価 ◆・・課題］
（1）	**学級・講座**	**個別事業**	・多様で幅広い事業 ・公民館の利用が少ない層に向けた事業 ・社会的制約を受けやすい人、社会的に孤立しがちな人を対象とした事業	・市民が抱える問題等を学習課題化 ・継続的な学びの提供 ・学びを実践につなげていく営みの支援	・地域課題の学習課題化 ・地域の中での事業実施 ・市民、団体、機関との連携・協働 ・ロビーの活用	・人と人がつながる機会の提供 ・団体・機関の関係形成を支援	**【だれもが学べる学習機会の提供】** 社会的に制約を受けやすい人、社会的に孤立しがちな人への配慮も含め、幅広い対象に向けて、生涯にわたる学習の機会を提供することができたか	・対象者別事業の実施（子ども対象・親子対象・青少年対象・高齢者対象・障がい者対象・外国人対象など。属性や固有の課題に応じた事業の実施） ・社会的に制約を受けやすい人、社会的に孤立しがちな人を対象とした事業の実施	・公民館の利用が少ない若年層や30～50歳代の現役世代に向けた事業に取り組む。 ・育児中の夫婦が一緒に参加できるように、保育付きの連続講座の中の数回を日曜日に実施する。	全事業数 92件 一般対象 40件／多世代交流2件 【生涯にわたる学習機会の提供】 子ども対象 7件／青少年対象 8件／親子対象 13件／成人対象 18件／勤労者対象 2件／高齢者対象 6件／子育て中の保護者対象 7件／子育て中の女性対象 3件／女性対象 1件／男性対象 0件 【社会的に制約を受けやすい人・社会的に孤立しがちな人対象】 障がい者対象 5件／外国人対象 1件 【学習支援保育付き事業】10件 【中学生・高校生等を対象とした事業、中学生・高校生がかかわる事業】6件 【30～50歳代に向けての事業】 ライフデザイン講座（オンライン参加可） 趣味講座 【父親と子どもを対象とした事業】1件 ※重複あり	A	◇・子どもから高齢者まで、ライフステージに応じた課題を取り上げた事業を実施した。 ・昨年度に引き続き、公民館の利用が少ない層に向けた事業として、中学生・高校生を対象とした事業や30～50歳代の就労世代を主たる対象とした講座を実施した。 ・柳沢公民館及び芝久保公民館で、保育付きの連続講座中の２回を日曜日に実施。夫婦の参加があった。 ◆公民館の利用が少ない層に向けた事業に取り組む。	A	◇毎年実施される事業評価内容を生かした事業運営が行われていることが評価表の各所から読み取れる。事業評価が公民館運営に生かされている実感を持つことができ、その労をねぎらいたい。オンラインの併用や、中高校生の参加によって幅広い年代の利用者が学習機会を得ることができている点も大変評価できる。 ◆市民の文化教養趣味などのニーズにこたえて、この部分の充実を今後も望みたい。 　また、女性固有の講座に加えて、男性固有の講座も検討してはどうか。オンライン講座では、実際に公民館に足を運びたくなるような仕掛けを今後も模索してほしい。
							【利用者をひろげる取り組み】 公民館に足を運んだことがない人、公民館主催事業に参加したことがない人に向けての事業に取り組んだか	・参加しやすい事業の実施 ・公民館主催事業に初めて参加した人の割合	参加しやすくする条件整備として、オンラインを活用する。	全事業数 92件 ・参加しやすい事業として実施した事業36件 （映画会、音楽会、地域交流事業、趣味講座など。内親子対象13件） ・公民館の利用が少ない層（中学生～青年、50歳代までの就労世代）に向けた事業 7件 ・参加しやすくする条件整備 保育付き講座 10件 オンライン参加併用講座 5件 ・動画配信を行った事業 2件 ・公民館主催事業に初めて参加した人が50%を超える事業 30件（ただし、アンケート調査を行った事業 67件中の件数。67件中の44.8%） ＜内訳＞子ども対象2件、青少年対象3件、親子対象 9件、保育付き講座 6件、防災2件、地域課題4件、手工芸 3件、観賞 1件 ※重複あり	A	◇・昨年度に引き続き、オンラインによる参加も可能な事業を５事業、実施した。 ・事業実施後、瞽女唄を取り上げた地域講座及び落語を取り上げた地域連携講座の動画を市ホームページで配信した。 ◆公民館を利用したことがない人に向けて、聴講型の事業のオンライン開催や事業実施後の動画配信等、オンラインの幅広い活用を検討する。		
				・市民が抱える問題等を学習課題化 ・継続的な学びの提供 ・学びを実践につなげていく営みの支援			**【学びの課題】** 市民の多様な学習要求に応える学習の機会を提供することができたか	取り上げた課題（子育て、環境、防災など）	・継続的に取り組んでいる課題に取り組むとともに、市民の学習要求の把握に努め、新たな課題にも取り組む。 ・平和について考える視点を取り入れた事業に取り組む。	全事業数 48件（子ども対象・青少年対象・親子対象事業、鑑賞等を目的とした成人対象事業、地域交流事業、視聴覚事業を除く） 子育て 6件／健康 22件／男女平等参画 1件／女性の生き方 2件／高齢者の課題 3件／高齢社会 2件／防災 6件／インクルーシブ 1件／労働 1件／貧困問題 0件／人権 1件／平和 3件／環境 2件／国際理解 4件／多文化共生 2件／まちづくり 2件／メディアリテラシー 1件／実技 5件／その他 13件（農業、不登校、現代史、生き方、文学、音楽等） 【平和について考える視点を取り入れた事業】 6事業 ※重複あり	A	◇・継続的に取り組んでいる地域課題や社会的課題を中心に、多様な課題に取り組んだ。 ・芝久保公民館では、「デジタルデバイドの解消」という新たな課題を取り上げた講座を実施した。本講座は、令和４年度実施の防災講座受講者の様子からニーズを把握し、企画・実施したものである。 ・平和について考える視点を取り入れた事業として講座だけでなく、コンサート、映画会、一人芝居、絵画展を開催した。 ◆継続的に取り組んでいる課題に引き続き取り組むとともに、市民と向き合う中で、潜在的な学習ニーズの把握に努める。	A	◇芝久保公民館の防災講座では、学びの課題をみつけ学習者のニーズに寄り添い、事業後も学びの質を深めることができた。市民や地域がどのような課題をかかえているか、各公民館の多くの事業でその模索が行われている点は、評価できる。 ◆何を地域課題とするか、その選択についても議論を深めたい。今後もロビーでの利用者との何気ないやり取りや会話などからヒントを得ることも多いと思われる。また、今後は経済的貧困やヤングケアラーの問題についても取り上げてほしい。

						【地域課題等の取り上げ】 地域課題や生活課題、社会的課題等を取り上げ、解決に向けた学習の機会を提供することができたか	・地域課題の取り上げ ・社会的課題の取り上げ ・総合計画の反映 ・教育計画の反映	市民とのかかわりの中で、地域課題を把握することに努め、学習課題化する。	事業数 43件（子ども対象・青少年対象・親子対象事業、鑑賞等を目的とした成人対象事業、実技の成人対象事業、地域交流事業、視聴覚事業を除く） ・地域課題の取り上げ 20件（46.5%） （防災、環境、多文化共生、インクルーシブ、不登校、高齢者の課題など） ・社会的課題の取り上げ 4件（9.3%） （平和、現代社会、生き方） 全事業数 92件 ・総合計画の反映 33件（35.9%） ・教育計画の反映 72件（78.3%） ※重複あり	A	◇・継続事業を中心に、地域課題や社会的課題を取り上げた講座を実施した。 ・市総合計画の主要事業でもある地域づくり未来大学（柳沢）は、市民の問題意識を学習課題化し、柳沢公民館周辺地域の課題を取り上げて、企画・実施した。 ◆普段の会話など市民とのかかわりの中で、地域課題を把握することに努め、学習課題化する。		
						【協働・連携、協力の推進】 市民・団体・機関等と連携・協働した事業を企画・実施することができたか	・他課との協働・連携 ・他教育施設との協働・連携 ・他公共機関との協働・連携 ・地域団体等との協働・連携 ・公民館利用団体との協働・連携 ・地域の人材との協働・連携	全館で、公民館で活動する団体と連携した事業に取り組む。	全事業数 92件 協働・連携事業 23件 ・他課との協働・連携 2件 ・他公共機関との協働・連携 1件 ・市民団体、地域団体等との協働・連携 15件 ・地域人材との協働・連携 4件 ・社会教育課、図書館との連携事業「まちなか先生」を実施 3種類の講座を小学校10校、中学校3校で合計24回実施 ※重複あり	A	◇・サークル見学体験会やサークルとの共催講座など、全館で、公民館で活動する団体と連携した事業を実施した。 ・保谷駅前公民館では、北東部地域協力ネットワーク「ほくっとネット」と連携して２事業を実施した。 ◆「まちなか先生」については、開始から３年経ったので、内容、講師等を見直す。	A	◇公民館が主体的に、市民や団体、機関に働きかけ、連携・協働を実現している点はたいへん評価できる。特に「まちなか先生」事業は、職員の負担も大きく時間も費やされるが、その成果は素晴らしく、学校や児童生徒と住民がつながるしくみとして評価できる。学校と公民館のつながりも年々強くなっている。これら負担の多い事業を地道に取り組み、地域人材を増やしている実績を評価したい。 ◆さらには連携・協働によって何が生まれたのか、どんな成果があったのか、を公民館が評価できるしくみもあると良いのではないか。「まちなか先生」事業では、子どもたちに公民館を知ってもらい、興味をもってもらえる試みも求めたい。
						【プロセス重視の運営】 プロセス重視の事業企画・運営に努めたか 市民の主体性を尊重し、自治能力の向上につながる学習の支援ができたか	・準備会 ・実行委員会 ・参加型学習（グループワーク、ワークショップ等）の工夫 ・学習成果の発表	企画や準備の段階から、市民が参加する講座に取り組む。	全事業数 92件 ・準備会 13件（14..1%） ・実行委員会 8件（8.7%） ・参加型学習を取り入れた講座の実施数 29件（31.5%） ・学習成果の発表13件（14.1%） 成人対象の学習講座（実技を除く）41件 ・参加型学習を取り入れた講座の実施数 25件（61%） ・学習成果の発表 3件（7.3%） ※重複あり	A	◇・継続事業については準備会を行い、企画段階からの市民参加を進めた。 ・谷戸公民館では、中高生が準備会を重ねて講師の助言を得ながら企画、運営した「中高生が企画する小学生向け防災講座」、高校生が準備会を開いて企画、運営した「高校生が考えた親に教えたい講座」を実施。大人だけでなく中高生の事業の企画・運営への参加を進めた。 ・保谷駅前公民館の「人権講座」は、準備段階で、主に10代の若者がすごろくづくりにかかわった。 ◆引き続き、企画や講座運営への市民参加を進める。	A	◇継続講座では企画段階から学習段階まで市民が運営に関わり、学習を深めている点が評価できる。特に当事者として高校生自身が企画、運営に参加した谷戸公民館の講座は生き生きとした講座となり大いに評価したい。保育付き講座では、連続講座の中にオンライン参加や公開講座を設けるなどして、子育てをしている多くの人を取り込む工夫をしたり、途中参加でもまとめを共有して行うなど、支え合いを大切に行っている点が評価できる。 ◆市民が同じように学習機会や学習経験を得るためにも、プロセス重視の運営方法を職員間で共有することも求められるのではないか。また、仕事に携わる共働き家庭が増えた今、その世代の学習のためにも、休日や夜間の講座開催も求められ、職員の負担は増す一方だと思われる。
						【学習者の評価】 学習者は、どのような評価をしているか	・アンケートによるプログラム・講師・運営に対する学習者の満足度	満足度調査以外のアンケート項目や自由記載等から、受講者の評価の把握につとめる。	全事業数 92件 （A：満足　B：ほぼ満足　C:やや不満　D：不満） AとBの合計が80%を超える事業数 プログラムの満足度 71件（調査対象72件） 講師の満足度 64件（調査対象64件） 運営の満足度 67件（調査対象68件） ※アンケート実施事業数　72件 うち回収率80%以上　54件	A	◇受講者へのアンケート結果や感想から、事業・講座に対する受講者の満足度は高いと判断できる。 ◆満足度調査は他の評価でも使用するため、引き続き実施するが、アンケートの他の項目や自由記載欄、感想等から、受講者の評価を把握し、公民館として共有するよう、努める。	A	◇多くの講座でしっかりとアンケートが実施されている点が評価できる。報告書にも自由記載のアンケートの内容が細かく報告されている。また、オンラインを活用したアンケート（LoGoフォーム）が実施されており、その場で書くことのできなかった参加者も、時間をおいてゆっくりとアンケートに取り組む例も報告されている。新しい形にどんどんチャレンジしてほしい。 ◆どこで講座受講者の本音をきくかという点についても、アンケートフォームに頼るばかりでなく、参加者との会話などを大切にして今後に生かしてほしい。

	項目	評価区分	基本方針				評価内容	実績指標	令和5年度の目標(課題)	実績	公民館(1次)評価		公民館運営審議会(2次)評価	
			開かれた公民館	問いかける公民館	地域とともに	地域の中につながりを					評価	評価及び課題　[◇・・評価　◆・・課題]	評価	評価及び課題　[◇・・評価　◆・・課題]
(2)	施設管理	環境整備					**【学習環境の整備】** 社会教育施設として、市民の主体的な学習活動を支援する環境整備に努めたか	・団体連絡箱の適切な提供 ・印刷機等の提供 ・ロビーの環境整備	・コロナ禍における利用制限の解除を受けて、ロビーの環境整備を行う。 ・空調機器の更新及び照明器具のLED化を行う。	・団体連絡箱利用団体数（6館合計）368団体 ・印刷機利用件数（6館合計）1015件 ・全館で、ロビーの机及び椅子の配置をコロナ禍以前の状況に戻し、学習や歓談ができるスペースを増やした。 ・柳沢、芝久保、谷戸、ひばりが丘公民館の空調機器を更新 ・柳沢、芝久保、谷戸、ひばりが丘、保谷駅前公民館の照明器具をLEDに変更	A	◇・利用制限解除を受け、各館で、個人でもグループでも利用しやすいよう、ロビーの環境整備を行った。 ・ひばりが丘公民館は、印刷機をロビーから小会議室に移し、机と椅子を設置することにより、ロビーの一角に学習可能なスペースを設けた。 ・４館で空調機器の更新を、５館で照明器具のLED化を実施し、環境に配慮した施設整備を行った。 ◆既に設置されている田無公民館以外の５館のロビーに公衆無線LANを設置し、利用者の学習活動等を支援する。	A	◇ひばりが丘公民館の窓際の学習スペースの設置や、柳沢公民館の学習机の設置などロビーを有効に活用する工夫が各館でみられた。柳沢公民館の自転車置き場も、利用しやすい形に改善され、照明も全館LED化されて、全体的に利用しやすくなった。 ◆ロビーが騒がしいと苦情もあるようだが、本来ロビーは利用者が交流を図ったり情報交換をする多目的の場所なので、学習者の利便一辺倒にならないよう、学習室の設置などを視野にいれてほしい。またLED化でどのくらいコストが削減されたか、今後はみていく必要もある。夜間の警備員中心の防災訓練も実施する必要がある。
		防災					**【防災】** 防災・減災対策に取り組んだか	・防災訓練の実施 ・防災対応マニュアルの整備	全館で防災訓練を実施する	防災訓練の実施 ・柳沢、田無、芝久保、谷戸、ひばりが丘 　保育引き取り訓練 1回 ・田無 　消防署員によるAED救護と初期消火訓練 1回 　公民館・図書館合同防災難訓練（防災講座の中の1回として実施）1回 ・芝久保 　利用者懇談会の中で、避難経路の確認、消防署員によるAED操作研修等を実施　1回 ・ひばりが丘　避難訓練 1回 ・保谷駅前　ビル管理会社主催避難訓練 2回	B	◇内容は様々であるが、全館で防災訓練を行った。 ◆各館で、職員・警備員や利用者を対象とした防災訓練等の実施を検討する。		

	項目	評価区分	基本方針				評価内容	実績指標	令和5年度の目標(課題)	実績	公民館(1次)評価		公民館運営審議会(2次)評価	
			開かれた公民館	問いかける公民館	地域とともに	地域の中につながりを					評価	評価及び課題　[◇・・評価　◆・・課題]	評価	評価及び課題　[◇・・評価　◆・・課題]
(3)	窓口業務	学習相談					**【学習情報整理】** 学習情報の収集・整理・共有化を行い、市民の学習に繋がるような情報提供を行ったか	・公民館登録団体一覧の更新（年1回） ・団体の館内掲示物・配布物の整理・保管 ・公民館利用団体紹介ファイルの設置	公民館で活動する団体の大半が、年度末に公共施設予約管理システムへの登録の有効期限を迎えるので、活動中の団体の更新手続きが滞りなく行われるよう、広報等を適切に行うとともに、公民館登録団体一覧に掲載する団体の精査を行う。	・公民館登録団体一覧の更新（年1回） ・全館に同一内容の閲覧用サークル紹介ファイルを設置 ・令和6年度の公民館登録団体一覧に公共施設予約管理システムへの登録更新結果を反映 ・サークル紹介紙を作成、配布（田無）	A	◇引き続き、公民館登録団体一覧やサークル紹介ファイル、ポスターの掲示、チラシの配架等により、団体及び学習情報の整理、提供を行った。 ・公民館利用団体に対して、インターネットを活用した活動紹介の一つとして西東京市生涯現役応援サイト「ミーツ（meets）」があることを紹介した。 ◆引き続き、団体及び学習情報の整理、提供に努める。	A	◇窓口での相談対応など、窓口業務は適切に実施されており評価できる。またサークル体験会などの実施が会員増につながっており評価したい。 ◆学習相談については、特色のある相談内容や相談体験などを、職員間で情報共有して、次につないでほしい。
							【窓口対応における学習支援】 市民の学習の質を高め、継続的なものにすることができるように学習相談を行ったか	・公民館登録団体に関する情報提供 ・団体からの各種相談に対する対応	活動が停滞したり、会員数の減少により存続の危機にあったりする公民館利用団体を支援する。	・書面による公民館登録団体の紹介 211件 ・会員募集を行う公民館利用団体を支援する取り組み 　サークル見学月間・1日ロビー見学体験会（田無） 　サークル見学体験会（芝久保・ひばりが丘）	A	◇・引き続き、窓口及び電話で、市民の求めに応じて、団体情報の提供を中心とした学習相談を行った。 ・サークル見学体験会等、田無、芝久保、ひばりが丘公民館の３館で、公民館利用団体の会員増につながる取り組みを行ったところ、３館の複数の団体に新規入会者があった。 ・学習相談事例を共有する機会として、全職員を対象とする６館会議を活用することとした。 ◆各館の状況に応じた方法で、公民館利用団体の会員増につながる取り組みを行う。		

	項目	評価区分	基本方針				評価内容	実績指標	令和5年度の目標(課題)	実績	公民館(1次)評価		公民館運営審議会(2次)評価	
			開かれた公民館	問いかける公民館	地域とともに	地域の中につながりを					評価	評価及び課題　[◇・・評価　◆・・課題]	評価	評価及び課題　[◇・・評価　◆・・課題]
(4)	広報	広報	・広報活動の充実				**【公民館だより】** 公民館だよりを通して、市民に公民館や地域に関する情報を発信したか	・掲載記事の内容	公民館だよりの紙面構成の見直しを行う。	【特集記事】 公民館主催事業に関する記事 2回 サークル紹介 1回 【連載記事】 わが街をもっと知りたくて 2回 ミニ紙面講座 1回 【その他】 特集の関連記事（インタビュー）1回 サークルに関する記事 2回 【公民館だより編集室会議】 10回開催	A	◇・主催事業募集記事の掲載方法を工夫することにより、限られた紙面の中で地域に関する情報や市民の交流につながる情報等を掲載した。 ・公民館だより編集室会議において、紙面刷新の検討を重ねた。 ◆公民館の広報だけでなく、地域に関する情報提供や市民の交流につながる紙面づくりに努めるとともに、令和５年度の検討を踏まえ、紙面の刷新に取り組む。	A	◇公民館だより編集会議をていねいに行って、より市民の見やすい、親しみのもてる紙面が作られており、たいへん評価できる。SNSやQRコードなどを駆使して、限られた紙面を有効に活用している。広報分野はさらに進化しているので、さらなるツールの活用に取り組んでほしい。 ◆目をひく講座は広報しやすいが、地味な地道な講座にも光をあてて、さらに市民の関心を高めるよう取り組んで欲しい。
							【幅広い広報】 市ホームページやSNS等の公民館だより以外の媒体を活用した広報活動に努めたか	・市ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞの活用 ・SNSの活用	・市ホームページやSNS等を活用して、広報の充実に努める。	・市ホームページ上に公開した実施事業の動画　2件 ・市SNSを利用した事業案内　合計 延べ90件 　X（旧ツイッター）31件 　フェイスブック 28件 　ライン 31件 ・Logoフォームで申込受付を行った事業　54件 ・地域コミュニティアプリ、ピアッザで情報発信を行った事業 22件 ・広報に関する職員研修を実施　2回	A	◇・公民館だより10月1日号特集記事について、紙面で紹介できなかった取材内容を市ホームページで紹介した。 ・市ホームページやSNS等を活用した広報を進めるとともに、チラシや市ホームページの作成等に関する研修を実施し、職員の広報意識の向上に努めた。 ◆アスタビジョンなど今まで取り組んでこなかった広報手段の活用について検討する。		

	項目	評価区分	基本方針				評価内容	実績指標	令和5年度の目標(課題)	実績	公民館(1次)評価		公民館運営審議会(2次)評価	
			開かれた公民館	問いかける公民館	地域とともに	地域の中につながりを					評価	評価及び課題　[◇・・評価　◆・・課題]	評価	評価及び課題　[◇・・評価　◆・・課題]
(5)	長期的視点での人づくり	単年度学習成果				・人と人がつながる機会の提供	**【学習の継続と成果】** 事業参加者の学習活動の総括・学習成果の発表・学習の継続を支援したか	・学びの振り返りの会の実施 ・記録誌、記念誌の発行 ・学習成果の発表 ・主催講座からサークル化した団体数	多様な方法で受講者自身による学習活動の総括を支援する。	・振り返りの会の実施 8件 ・公民館保育室活動の記録誌発行 5冊(各館1冊) ・主催講座の記録誌発行 12講座(保育付き講座9、農業を知る講座、青少年ウィーク、人権講座) ・まつり記念誌発行 2館 ・ロビーにおける主催事業の学習成果の発表　8事業 ・公民館だよりにおける主催事業報告　2回 ・サークルの発足　11団体	A	◇・自主サークル化することが多い実技的な内容の講座や保育付き講座のほか、地域課題、社会的課題を取り上げた講座２事業、親子対象講座２事業（将棋、料理）から自主サークルが発足。 ・芝久保公民館では、「高齢者の課題を考える講座」参加者の集える場の継続を求める声を受けて、高齢者が幅広い世代と交流する居場所事業「みんなおいでよ！芝久保交流会」を実施。職員が開催日の連絡や話し合いの進行を行い、参加者が交流しながら、したいことを実現していけるように、支援した。 ◆引き続き、自主サークル化、記録誌の作成、発表、振り返りの会など、多様な方法により、参加者自身による学習活動の総括を支援する。		◇・地域課題や社会的課題を考える講座など単発で終わりがちな講座の中からも、自主サークルが立ち上がっており、まさに、集って学んで、つながっていく様子が実現できていることはたいへん評価できる。参加した学習者の意欲を次につなげる支援ができているといえる。 ・保育付き以外の講座からも記録誌が発行されて、サークル発足にもつながり評価できる。 ◆記録誌の作成については、作業の効率化や簡素化に向けて検討されているようだが、記録誌を作ることの価値と負担については、丁寧に考える必要がある。
		学習成果			・市民、団体、機関との連携・協働	・人と人がつながる機会の提供 ・団体・機関の関係形成を支援	**【学びの還元】** 公民館で長期的な活動を行う市民・団体を地域資源として活用するとともに、その学習成果の地域還元を支援したか	・市民・団体との協働・連携による事業実施 ・公民館まつり等の地域交流事業の実施 ・公民館ロビーでの展示、発表 ・市民企画事業の実施(※2)	市民が学びを地域活動へとつなげる動きを支援する。	・市民、団体との協働・連携による事業23件 ・学習成果の地域還元に該当する地域交流事業の実施 12件 ・ロビーにおける市民団体による学習の成果発表数 　団体主催　　31件 　公民館主催　　11件 ・市民企画事業の実施 15件 ・公民館主催講座で学んだ市民の地域活動を支援する事業1件(BOSAIカフェ) ・まちなか先生　3種類の講座(講師:地域団体21講座、講師:地域人材1講座)を小学校101校、中学校3校で合計24回実施	A	◇・柳沢、田無、芝久保、ひばりが丘、保谷駅前公民館で、実行委員会方式により地域交流事業を実施した。谷戸公民館では、実行委員会主催の谷戸まつりの事務局を担い、市民の活動を支援した。 ・田無・谷戸公民館の２館で、地域交流事業以外に、ロビーで公民館主催の作品展を行った。 ・公民館で活動する自主サークルが企画、運営にかかわり、講師等も務める講座を、柳沢公民館は２事業（サークル公開講座「陶芸体験教室」及び「藍のたたき染めに挑戦！」）、保谷駅前公民館は１事業（地域連携講座「落語っておもしろい！あなたもハマる落語の世界」）、共催で実施した。 ◆学びを地域活動へとつなげる市民の動きを支援する。	A	◇事業の企画段階からサークルが関わり、その内容を利用者懇談会で発表するなど、市民との連携・協働がダイナミックに行われたことは素晴らしい。また、学校に赴き実施される「まちなか先生」事業は、社会資源と学校をつなげる役割を果たし、学校からも大変評価されている。コロナ禍での利用制限が解除された後、ロビーも有効に活用され、学習発表も盛んに行われるようになってきた。 ◆サークルが講師を務める講座が実施されているが、講師を務める市民に丸投げするのではなく企画段階から職員も関わっていくことで相互に学ぶ力がつく。公民館はこの過程を大切にしてほしい。
		地域づくり					**【市民参加】** 市民本位の公民館運営の実現のために、館の運営及び事業の企画・運営への市民参加を促進したか ※事業の企画・運営への市民参加については、評価項目(1)「学級・講座」評価内容「プロセス重視の運営」を参照	・公民館運営審議会の開催 ・利用者懇談会の開催	利用者懇談会の充実に努める。	・公民館運営審議会の開催 10回 ・公民館運営審議会の傍聴　延べ19人 ・全館で年2回の利用者懇談会を定期開催 ・対象者別利用者懇談会の開催 　柳沢4回(陶芸3回、工作室1回)、田無1回(調理)、 　芝久保1回(陶芸)、ひばりが丘1回(麻雀)	B	◇令和４年度に引き続き、公民館運営審議会委員と協力して利用者懇談会を実施した。 ◆館の運営への市民参加を進めるために、全館で、利用者懇談会の充実に努める。	B	◇公民館運営審議会委員の利用者懇談会への協力・参加は、公民館運営審議会の存在を市民に伝え、また公民館運営審議会委員の学びとしても、たいへん有意義だった。利用者懇談会でのグループワークの実施（柳沢公民館）は、公民館運営審議会委員からの評価は高い。 ・毎回の公民館運営審議会に必ず市民の傍聴があり、公民館に対する市民の意識の高さを実感するとともに、身の引き締まる思いがある。 ◆・利用者懇談会のグループワークで公民館の利用マナーについて話し合うなど、利用者自身が公民館について考える機会を取ると良いのではないか。 ・利用者懇談会は公民館について学び、人と人を結びつける良い機会なので、ぜひ全館で利用者懇談会を有効に活用してほしい。そのためにも、各公民館の間で情報共有を進めるとともに公民館運営審議会委員間の情報共有もしていきたい。 ・公民館運営審議会の傍聴の機会をもっと広報する必要がある。
					・地域の中で事業実施・市民、団体、機関との連携・協働		**【地域の中での事業実施】** 公民館の施設にとどまらず、まちの中で主催事業を実施したか	・他施設を利用した主催事業の実施	地域人材や地域団体等と協力しながら、地域の中で事業を実施する。	・他施設等を利用した主催事業の実施 12件 　公園等5件、農地 2件、公共施設 3件、教育施設 1件、 　まち歩き 1件、その他 1件 ・小学校10校、中学校3校で「まちなか先生」を実施。3種類の講座を合計24回実施。	A	◇地域人材や地域団体等と協力しながら、地域の中で事業を実施した。 ◆公民館が設置されていない、西武池袋線以北の施設を利用して、事業を実施する。		

■※1. **学習支援保育とは…**乳幼児を育てている市民に対して、多様な学習機会を保障し、出会いと学びあいの機会を生み出すような公民館の公費保育制度です。親子の学びと成長を継続的に支え、学びの成果を地域へ発信・還元できるように支援します。

■※2. **市民企画事業とは…**市内の自主グループが企画した事業を一定の審査の上、公民館事業として実施するものです。自主グループが日頃の活動で培った知恵やノウハウを生かして市民にさまざまな学習機会を提供し、地域を豊かにすることが目的です。